



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年 7月31日

上場会社名 **大丸エナウイン株式会社** 上場取引所 東証二部・大証二部
 コード番号 9818 URL <http://www.gas-daimaru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹川 卯三郎
 問合せ先責任者(役職名) 財務部長 (氏名) 明石 賢治 TEL:(06)-6685-5106
 四半期報告書提出予定日 平成20年 8月12日

(単位 百万円:未満切捨)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,734	(-)	253	(-)	265	(-)	120	(-)
20年3月期第1四半期	—	(-)	—	(-)	—	(-)	—	(-)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	14	96	—	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21年3月期第1四半期	10,727	7,095	66.1	883	38
20年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,095百万円 20年3月期 — 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭 — —	円 銭 5 50	円 銭 — —	円 銭 5 50	円 銭 11 00
21年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
21年3月期(予想)	— —	5 50	— —	5 50	11 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	8,850	(-)	130	(-)	147	(-)	63	(-)	7	84
通 期	19,500	(-)	566	(-)	600	(-)	288	(-)	35	86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

[新規 1社 (社名 丸信ガス株式会社)]

[(注)詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

[(注)詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

[(注)詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	8,046,500株	20年3月期	8,046,500株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	14,281株	20年3月期	14,271株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	8,032,222株	20年3月期第1四半期	8,032,238株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

[定性的情報・財務諸表等]

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油価格の高騰や米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速懸念等により企業収益が減少し、個人消費や設備投資が力強さを欠くなど、景気の先行き不透明感が強まる状況となりました。

このような状況下におきまして、今期より丸信ガス株式会社を連結子会社とした当社グループの売上高は、リビング事業部 4,208百万円、医療・産業ガス事業部 404百万円、アクア事業部 120百万円、合計4,734百万円を計上しました。

前期個別の四半期売上高に比べ543百万円増収となりました内訳は、リビング事業部においてLPガス価格高騰の影響と子会社丸信ガスの売上高が寄与して458百万円増加し、医療・産業ガス事業部も医療ガス、在宅酸素、産業ガスが好調で55百万円増加し、アクア事業部もユーザー件数の増加に連動して29百万円増加しました。

売上総利益についてもLPガスの仕入価格上昇分を販売価格に転嫁することに努め、また販売費及び一般管理費においてものれん償却額等の減少がありましたので、営業利益は253百万円になりました。

営業外収益13百万円、営業外費用1百万円を加減算した経常利益は、265百万円となり、法人税、住民税及び事業税等控除後の四半期純利益は120百万円を計上いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産合計は当期首資産合計額と比較して受取手形及び売掛金が584百万円減少し、有形・無形固定資産の償却も進みましたので資産合計は626百万円減少し、負債合計も支払手形及び買掛金が563百万円減少し、未払法人税等も減少しましたので負債合計は709百万円減少し、純資産は83百万円増加して自己資本比率が66.1%になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは183百万円の資金の増加にとどまりました。これは税金等調整前四半期純利益264百万円、減価償却費115百万円に対し、前期分の法人税等の支払額218百万円支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは152百万円の資金が減少しました。これは有形固定資産の取得が131百万円あったことと無形固定資産の取得が13百万円あったためです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、納税および賞与資金として150百万円の短期借入を実行し、60百万円の返済と期末配当金の支出41百万円を実施しましたので、48百万円の資金の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値は平成20年6月27日に公表しました業績予想と変更はありません。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は平成20年4月1日付けで、愛媛県松山市鷹子町の丸信ガス株式会社(LPガス販売会社)の全株式を取得し、当社の連結子会社となりました。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を主要商品に限定し、部品等については帳簿価格を使用して実地棚卸を省略する合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

4 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当第1四半期会計期間において経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前回使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

1 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として移動平均法による原価法から主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。なお、従来の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

大丸エナウイン(株) (9818) 平成21年3月期 第1四半期決算短信

(単位 百万円:未満切捨)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586	—
受取手形及び売掛金	2,880	—
商品及び製品	510	—
その他	242	—
貸倒引当金	△ 9	—
流動資産合計	5,211	—
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	1,140	—
土地	1,548	—
その他	1,001	—
有形固定資産合計	3,690	—
無形固定資産		
のれん	1,166	—
その他	115	—
無形固定資産合計	1,281	—
投資その他の資産	543	—
固定資産合計	5,516	—
資産合計	10,727	—
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,397	—
短期借入金	90	—
未払法人税等	94	—
役員賞与引当金	5	—
その他	588	—
流動負債合計	3,174	—
固定負債		
役員退職慰労引当金	203	—
その他	253	—
固定負債合計	457	—
負債合計	3,632	—
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	—
資本剰余金	1,185	—
利益剰余金	4,986	—
自己株式	△ 9	—
株主資本合計	7,033	—
評価・換算差額等	62	—
その他有価証券評価差額金	62	—
純資産合計	7,095	—
負債純資産合計	10,727	—

(2) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円:未満切捨)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
売上高	4,734
売上原価	3,236
売上総利益	1,497
販売費及び一般管理費	1,244
営業利益	253
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	3
受取賃貸料	4
その他	4
営業外収益合計	13
営業外費用	
支払利息	0
売上割引	0
その他	0
営業外費用合計	1
経常利益	265
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除売却損	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	264
法人税、住民税及び事業税	89
法人税等調整額	54
四半期純利益	120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円:未満切捨)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	264
減価償却費	115
のれん償却額	74
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4
長期未払金の減少額	0
受取利息及び受取配当金	△ 4
支払利息	0
有形固定資産売却益	△ 0
有形固定資産除売却損	1
売上債権の増減額(△は増加)	582
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 14
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 563
その他	△ 50
小計	397
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△ 0
法人税等の支払額	△ 218
営業活動によるキャッシュ・フロー	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 131
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△ 13
投資有価証券の取得による支出	△ 9
貸付金の回収による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 152
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	150
短期借入金の返済による支出	△ 60
配当金の支払額	△ 41
自己株式の純増加額	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	48
現金及び現金同等物の増加額	78
現金及び現金同等物の期首残高	1,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,586

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

大丸エナウイン(株)(9818) 平成21年3月期 第1四半期決算短信

当社は当四半期より単体決算から連結決算へ変更しましたので、「参考」として個別貸借対照表および個別損益計算書を掲載しております。

(要約)第1四半期個別貸借対照表

(単位 百万円:未満切捨)

科 目	前年同四半期個別 (平成20年3月期 第1四半期)	当四半期個別 (平成21年3月期 第1四半期)	増 減		平成20年3月期個別
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)				%	
流 動 資 産	5,674	4,970	△ 704	△12.4	5,271
現金及び預金	2,198	1,379	△ 819		1,088
受取手形	791	735	△ 56		786
売掛金	1,966	2,114	147		2,604
商 品	422	508	85		493
繰延税金資産	74	37	△ 36		69
その他	230	204	△ 25		241
貸倒引当金	△ 9	△ 8	0		△ 10
固 定 資 産	5,125	5,486	361	7.0	5,569
有形固定資産	3,529	3,663	133	3.8	3,695
建物	422	549	127		557
機械及び装置	996	1,128	131		1,169
土地	1,514	1,548	34		1,525
その他	597	436	△ 159		443
無形固定資産	918	1,280	362	39.5	1,355
のれん	811	1,166	355		1,239
その他	106	114	7		116
投資その他の資産	677	542	△ 134	△19.9	517
投資その他の資産	691	545	△ 146		521
貸倒引当金	△ 14	△ 3	11		△ 3
資 産 合 計	10,800	10,457	△ 343	△3.2	10,841
(負債の部)					
流 動 負 債	3,259	2,901	△ 358	△11.0	3,402
支払手形	1,196	875	△ 320		935
買掛金	1,456	1,509	53		1,973
短期借入金	90	90	-		-
未払法人税等	91	94	2		115
その他	425	332	△ 93		377
固 定 負 債	469	457	△ 12	△2.6	426
長期未払金	92	87	△ 4		87
役員退職慰労引当金	183	203	20		199
その他	194	166	△ 28		139
負 債 合 計	3,729	3,358	△ 371	△10.0	3,829
(純資産の部)					
株 主 資 本	6,933	7,036	103		6,957
資 本 金	870	870	-		870
資 本 剰 余 金	1,185	1,185	-		1,185
利 益 剰 余 金	4,886	4,989	103		4,910
自 己 株 式	△ 9	△ 9	△ 0		△ 9
評 価 ・ 換 算 差 額 等	137	62	△ 74		54
その他有価証券評価差額金	137	62	△ 74		54
純 資 産 合 計	7,070	7,098	28	0.4	7,012
負 債 及 び 純 資 産 合 計	10,800	10,457	△ 343	△3.2	10,841

(要約)第1四半期個別損益計算書

(単位 百万円:未満切捨)

科 目	前年同四半期個別 (平成20年3月期 第1四半期)	当四半期個別 (平成21年3月期 第1四半期)	増 減		平成20年3月期個別
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
売 上 高	4,190	4,673	482	11.5	18,126
売 上 原 価	2,886	3,234	347	12.1	13,040
売 上 総 利 益	1,304	1,439	135	10.4	5,086
販売費及び一般管理費	1,144	1,182	37	3.3	4,768
営 業 利 益	159	256	97	60.8	317
営 業 外 収 益	12	13	0	4.2	48
受取利息・配当金	(4)	(4)			(9)
仕入割引	(1)	(2)			(7)
受取賃貸料	(4)	(4)			(16)
その他の	(2)	(2)			(15)
営 業 外 費 用	1	1	△0	△ 30.0	6
支払利息	(0)	(0)			(1)
売上割引	(0)	(0)			(1)
その他の	(0)	(0)			(3)
経 常 利 益	170	268	98	57.4	359
特 別 利 益	-	0	0		2
特 別 損 失	-	1	1		22
税引前四半期(当期)純利益	170	267	96	56.6	339
法人税、住民税及び事業税	89	89	0		183
法人税等調整額	△ 4	54	58		2
四半期(当期)純利益	85	123	38	44.7	153

注1 参考として開示した(要約)第1四半期個別貸借対照表および(要約)第1四半期個別損益計算書は法定開示におけるレビュー対象にはなりません。

注2 平成21年3月期第1四半期の個別貸借対照表および個別損益計算書を作成にあたり採用した財務諸表の作成基準は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(要約)第1四半期個別事業部別売上高

(単位 百万円:未満切捨)

事業区分		前年同四半期個別 (平成20年3月期 第1四半期)		当四半期個別 (平成21年3月期 第1四半期)		平成19年3月期個別	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
リビング事業部	ぼっぼガス	1,095	26.1	1,199	25.7	4,495	24.8
	エネルギー	1,912	45.7	2,285	48.9	8,511	46.9
	住宅設備	741	17.7	663	14.2	3,156	17.4
	計	3,750	89.5	4,148	88.8	16,163	89.1
医療・産業ガス事業部	医療ガス	87	2.1	103	2.2	374	2.1
	産業ガス・機材	261	6.2	301	6.4	1,161	6.4
	計	349	8.3	404	8.6	1,535	8.5
アクア事業部		91	2.2	120	2.6	427	2.4
	計	91	2.2	120	2.6	427	2.4
合計		4,190	100.0	4,673	100.0	18,126	100.0